

8. むかしのくらし

名張市郷土資料館へ行ってみよう

郷土資料館の1階ホールでは、紙すきや米作りのときに使う昔の道具がてんじしてあります。今の道具とくらべてどうでしょう？使い方がわからない道具は資料館の人にたずねてみましょう。



名張市郷土資料館の正面と1階ホール

【昔のくらしに使ったもののうつりかわり】

1940年ごろ	ひばち	うちわ	せんたく板 とたらい	かまど	かま	かべかけ 電話
1950年ごろ	せん風機	洗濯機	電気すい 飯器	電話		
1960年ごろ	ストーブ	クーラー	ガスこんろ			
1970年ごろ	温風ヒーター	洗濯機	IHこんろ	電気すい 飯器		
1980年ごろ	エアコン (エアコンディショナー)	全自動 せんたく機				
1990年ごろ						けい帯 電話
2000年ごろ						
2010年ごろ						スマートフォン

他の道具についても、調べてみましょう。



資料館の2階には、大昔の人たちがくらしで使っていた道具がてんじされています。

一番古い道具は、シカやイノシシを追いかけるために、石で作ったやりや弓矢の先です。1万年前のものが土の中から見つかりました。大昔の人

たちは、石や土などで道具を作り、小高いおかでキャンプのような生活をしていました。やがて名張川ぞいに大きな村をつくり、くらすようになりました。大昔の人たちのくらしぶりを、てんじされているパネルや出土品から、想ぞう

してみましよう。同じ階では大昔の人々のくらしをじっさいに体験することができます。



縄文時代の住ぎよあと



かがみ鏡づくり

郷土資料館には、オオサンショウウオがいます。

昔から日本で住んでいるオオサンショウウオは、国の「特別天然記念物」



オオサンショウウオ

です。勝手につかまえたり、かたりすることはできませんが、平成27年6月から郷土資料館のプールでかっています。げんざい100ぴき以上います。なぜここでかうことができるのか調べてみましょう。

【→P30,38】